



## レアメタルを 9 割削減した【サステロイ STN30】が 「サステナブル★セレクション 2026」にて一つ星に選定 ～原材料の調達リスク低減などに貢献～

超硬合金製耐摩耗工具・金型製造の国内トップシェア、富士ダイス株式会社が開発した省タングステン・コバルト合金【サステロイ STN30】が、株式会社オルタナ／一般社団法人サステナ経営協会主催の「サステナブル★セレクション 2026」において「一つ星」に選定されました。

「サステナブル★セレクション」は、株式会社オルタナと一般社団法人サステナ経営協会の共催アワードで、サステナブル（持続可能）な理念と手法で開発された製品・サービスを選定し、社会に向けて推奨する仕組みです。その中で「一つ星（★）」への選定は、製品・サービスが、持続可能な社会づくりに貢献していることを表します。



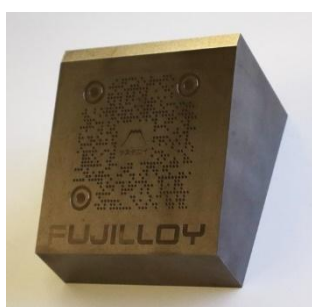
### ▲「一つ星」選定製品【サステロイ STN30】

本製品は、地政学的リスクが懸念される希少金属（レアメタル）であるタングステン、コバルトの使用量を約 9 割削減した新材料です。

超硬合金は、高い耐摩耗性を有していることから工業用途において幅広く使用されている一方、主原料であるタングステンやコバルトは地域偏在性が高く、特にタングstenは中国への依存度が高く、安定調達が大きな課題となっています。

富士ダイスは、こうした調達リスクの低減を目的として、2023 年よりタングステンおよびコバルトの使用量を大幅に削減した硬質材料の開発に着手し、【サステロイ STN30】を開発しました。【サステロイ STN30】は、一般的な超硬合金と比較してタングステンおよびコバルトの使用量を約 9 割削減しながら、同等レベルの被加工性と耐摩耗性を実現しております。

### レアメタルを 9 割削減した新材種【サステロイ STN30】の特徴



- W（タングステン）、Co（コバルト）の使用量を 9 割削減
- 超硬合金より軽量で、鋼と同程度の比重
- 一般的な超硬合金より高い耐食性
- 超硬合金に近い耐摩耗性を実現
- 研削加工性は超硬合金と同等で、放電加工も可能
- 磁性を有する

製品の詳細はホームページをご覧ください。

URL : <https://www.fujidie.co.jp/products/special>



当社では、省タングステン・コバルト合金について、超硬耐摩耗材の代替材としての需要を見込み、ラインアップの拡充を進めております。2026年10月26日（月）から10月31日（土）まで東京ビッグサイトで開催される JIMTOF2026（第33回日本国際工作機械見本市）では、タングステンを使用しない【サステロイ】の高強度・高靱性グレードとして開発中の新材種を初公開します。

ぜひ富士ダイスブース（西1ホール W1030）へお立ち寄りください。

なお、展示品の詳細につきましてはホームページをご覧ください。

（URL：<https://www.fujidie.co.jp/news/259>）

今後も富士ダイスは、希少資源への依存低減と製品の安定供給に寄与する材料開発を通じて、貴重な天然資源の保全と環境負荷の低減へ貢献してまいります。

### ▲富士ダイス株式会社について

当社は、創業77年、超硬合金製耐摩耗工具・金型メーカーです。素材開発力・精密加工技術に強みを持ち、国内のみならず海外2か国に生産拠点を展開し、国内トップシェアを誇っています。販売は直販体制を取り、お客様の個別のニーズに応じて、原料粉末の調製から焼結・機械加工・製品検査まで一貫生産体制で、幅広い業種のお客様とお取引させていただいています。詳細はこちら（<https://www.fujidie.co.jp/>）をご覧ください。

【報道各位からのお問い合わせ先】

富士ダイス株式会社 企画部

TEL：03-3759-7183

E-Mail：[prir.common@fujidie.co.jp](mailto:prir.common@fujidie.co.jp)